

# 施工方法と注意事項 (四角支柱)

## 組合せ一覧表

H+2J(560~1160)mm	H+J(280~580)mm	H(mm)	H-125	H-200	H-225	H-300
1810~2410	1530~1830	1250	1			
2560~3160	2280~2580	2000		1		
2810~3410	2530~2830	2250			1	
3060~3660	2780~3080	2500	2			
3560~4160	3280~3580	3000				1
3810~4410	3530~3830	3250	1	1		
4060~4660	3780~4080	3500	1		1	
4310~4910	4030~4330	3750	3			
4560~5160	4280~4580	4000		2		
4810~5410	4530~4830	4250		1	1	
5060~5660	4780~5080	4500			2	
5310~5910	5030~5330	4750	2		1	
5560~6160	5280~5580	5000		1		1
5810~6410	5530~5830	5250			1	1
6060~6660	5780~6080	5500	1	1	1	
6310~6910	6030~6330	5750	1		2	
6560~7160	6280~6580	6000				2
6810~7410	6530~6830	6250		2	1	
7060~7660	6780~7080	6500		1	2	
7310~7910	7030~7330	6750			3	
7560~8160	7280~7580	7000		2		1
7810~8410	7530~7830	7250		1	1	1
8060~8660	7780~8080	7500			2	1
8310~8910	8030~8330	7750	1	1	2	
8560~9160	8280~8580	8000		1		2
8810~9410	8530~8830	8250			1	2
9060~9660	8780~9080	8500		2	2	
9310~9910	9030~9330	8750		1	3	
9560~10160	9280~9580	9000				3
9810~10410	9530~9830	9250		2	1	1
10060~10660	9780~10080	9500		1	2	1
10310~10910	10030~10330	9750			3	1



(H+2J)



(H+J)



(H)

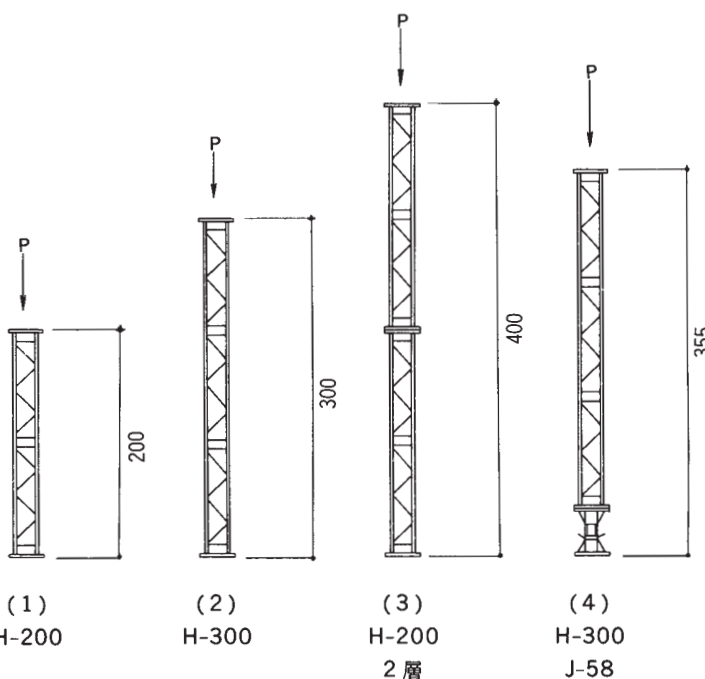
## 強度試験

### ●直圧荷重試験結果

試験体	降伏点 kN(ton)	最大荷重 kN(ton)
(1)	451(46.0)	580(59.1)
(2)	427(43.5)	568(57.9)
(3)	412(42.0)	556(56.7)
(4)	373(38.0)	501(51.1)

販売品

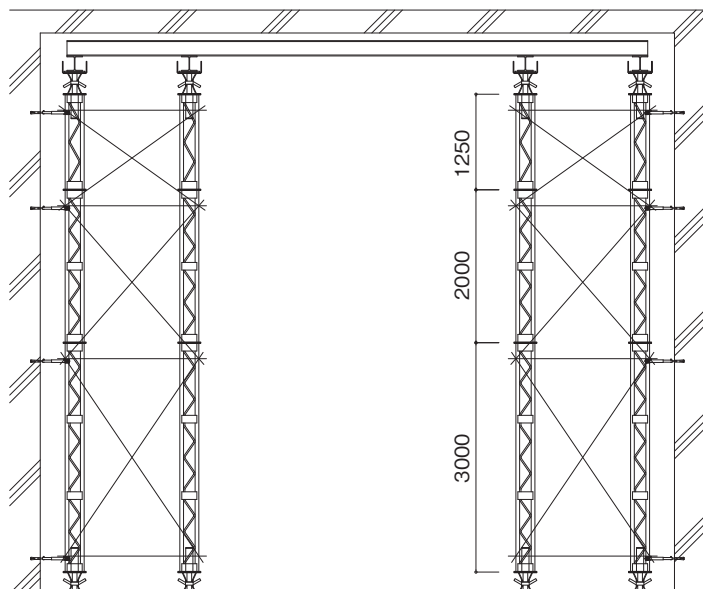
ボルト・ナット 5分 38mm  
4本使用 (U-31 使用時は2本)



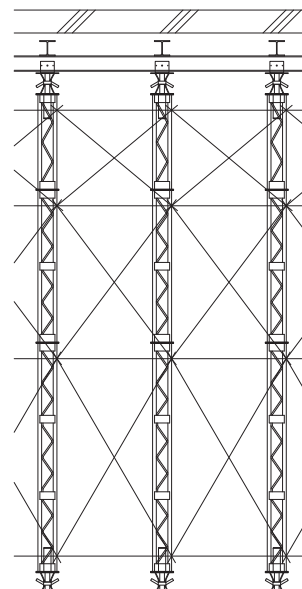
施工方法と注意事項 (四角支柱)

# 施工方法と注意事項 (四角支柱)

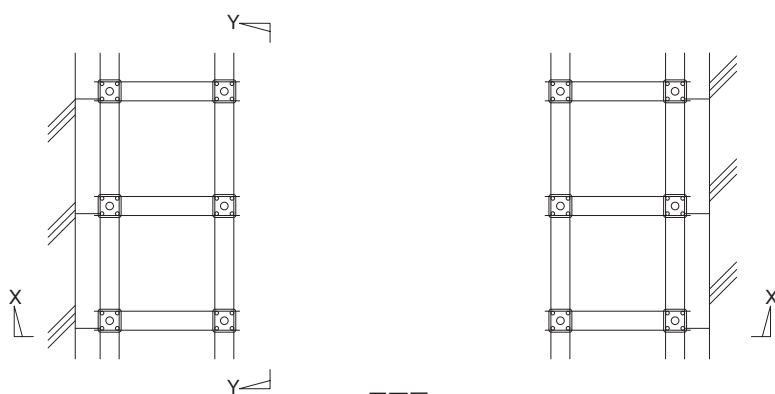
## 組立上の注意事項



X-X 断面図



Y-Y 断面図



平面図

### (組立手順)

- (1) 実際に使用する高さを定めて下さい。
- (2) 作業現場に応じ適当なヘッドおよびスペースを決めて下さい。
- (3) 高さからヘッドおよびベースの寸法を除き使用荷重の縮代を加えたHを求めて下さい。
- (4) HをP141の組合せ一覧表より求め組合せを決めて下さい。

### (注意事項)

- 支柱特にジャッキに偏心荷重、水平荷重がかからないようにし、もしかかる恐れがある場合には、立柱を増加する等、特別の処置をとって下さい。
- 振止めはジョイント毎に直角2方向にとり固定して下さい。
- 基盤の耐力は196kN (20t) 以上で、かつ不同沈下が起こらないようにして下さい。
- ジャッキの昇降の際は、摺動部は油をきらさないように注意して下さい。
- つなぎのボルトは充分締めつけて下さい。  
5分×38mm (販売)

